記念特集の編集にあたって

編集委員長 山本 昭和

「図書館界」は、今号をもって、通巻300号となります。第1号が発行されたのは1947年5月のことでした。そのときから54年の歳月が流れることとなります。この間に、日本の図書館および図書館学は、目をみはるほどの発展をとげました。300冊の「図書館界」は、この発展に大きく寄与してきたものと、自負しています。さて「図書館界」は50号ごとに、特集を行ってきていました。図書館や図書館学の分野で、前回の特集号以降に展開された実践活動や研究成果のうちから、それぞれの執筆者が重要と考えるものを取りあげて、紹介していくという特集です。今号は、その第6回目の特集号であり、21世紀に入ってからの最初の特集号でもあります。そのため、特集の名称を「図書館・図書館学の発展–21世紀を拓く」としました。

今号の企画を進めるにあたっては、2000年6月に拡大編集委員会を開催しました。編集委員会のメンバーに理事を務めつつも加えて会議を開き、300号特集号にふさわしい特集を企画するための工夫を計り、論文の募集も進めております。そのため、特集の名称を「図書館・図書館学の発展–21世紀を拓く」としました。会議は自然と、決定までに、ほぼ一月一日を費やしました。

論文提出の締切は2001年3月末日でした。このために、ほとんど論文が、2000年末あたりの状況をもとにした検討内容になっています。ただし、締切後にも届けられた論文もいくつかあるので、それぞれの論文の内容については、時期的な幅が若干生じています。

目次でも観のとおり、今号で取りあげた論文テーマの並びかたは、ほぼ250号のものを踏襲した形になっています。ただし、労働環境・子ども文庫などが論文タイトルからは消え、ネットワーク情報援・学会の動向などが新たに採用されています。「社会変化と図書館」、「いきる市民参加」、「図書館と法」、「図書館情報科学」、「図書館・図書館学の発展–21世紀を拓く」などの特集が掲載されております。

最後に、ご多忙な中、ご参加いただき、ありがとうございました。また、今号の読者に感謝を申し上げます。